

子どもたちの豊かな人間性や社会性を育む道徳教育の創造 ～地域の素材を生かした道徳の時間の工夫～

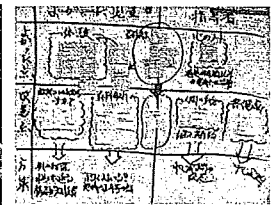
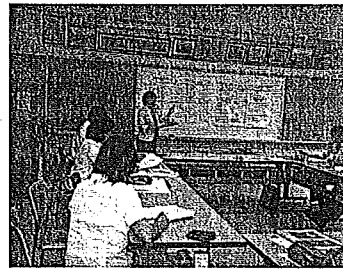
安芸太田町道徳教育推進協議会

アピールポイント

安芸太田町道徳教育推進協議会では、年6回の協議会を開き、内3回は道徳の時間の授業研究を行っています。また、学校教育全体での道徳教育の進め方について、演習・協議や実践交流を行っています。今年度は、「地域の素材を生かした道徳の時間の工夫」を研究の中心に据え、資料開発や指導方法の工夫改善に向けて、毎回熱のこもった協議を行っています。町内の学校はすべて小規模の学校ですが、児童生徒の道徳性の育成に向け、協議会のメンバーが一丸となって道徳教育の推進に取り組んでいます。

1 みんなで考える「道徳の時間」の授業

授業参観後の研究協議では、参加者全員で授業の良かった点や改善点などを出しあい、改善の方策をグループ協議し研修を行っています。研究授業へは事前に資料を読み、自分が授業者ならどのように授業を展開するかを略案に表して参観しています。このことで、後の協議が「自分だったらこうする」といった主体的な発言につながり、各自の授業改善に結びついています。


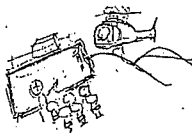
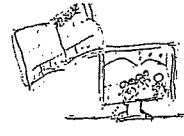
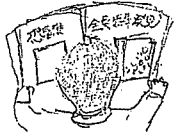


研究協議の様子

2 地域の自然を素材にした資料開発

安芸太田町は、恐羅漢や三段峡などを含む西中国山地国定公園の中にあり、自然に恵まれた地域です。これらの自然を道徳教育資料にできないかということで、今年度は恐羅漢を素材に資料づくりに取り組んでいます。恐羅漢のもつ自然の雄大さと厳しさから、自然に対する畏敬の念を深めていきます。

資料のあらすじ(案)

(起) 毎年スキー教室をしている恐羅漢。自然の豊かさを感じている主人公。	(承) 授業中、空からヘリコプターの音が…恐羅漢で遭難事故が発生した。	(転) 刻々と伝わってくる捜索のニュース。自然の恐ろしさを感じずにはいられない。	(結) 遭難者は無事救助された。自然の雄大さと恐ろしさを改めて感じた。
			

3 地域の素材を生かした「道徳の時間」

児童生徒は地域で様々な体験をし、たくさんを感じています。これらの体験を「道徳の時間」の授業に生かすことはできないかを考えて、授業改善を行っています。

バッタやイモリ、モリアオガエルの卵などを
みつけたよ



体験



道徳の時間